

平成31年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
2	11	鈴木 弘 議員		1/1
発言項目	要 旨			答弁者
1 水道事業における「コンセッション方式」などについて	<p>昨年12月に水道法が改正された。その改正は、自治体が浄水場などの施設を所有したまま運営を民間企業に売却する「コンセッション方式」を促進していることが特徴となっている。「富士宮市水道ビジョン」に基づき事業が進められていると思うが、その進捗状況と合わせ伺う。</p> <p>(1) 厚生労働省が水道事業の課題として主に4点を掲げている。それらについて市の現状を伺う。</p> <p>① 人口減少による有収水量の減少により収益が悪化し、経営状況が厳しくなるというがどうか。</p> <p>② それにより管路等の老朽化、更新の遅れが解消できないというがどうか。</p> <p>③ 自然災害による水道被害の多発に対応できるかというがどうか。</p> <p>④ 職員数の減少というが、市の状況を伺う。</p> <p>(2) コンセッション方式への市長の考えを伺う。</p> <p>(3) 水道水がひどくカルキ臭い場合があるというがどういふ場合にそうなるのか伺う。</p> <p>(4) 簡易水道事業と飲料水供給施設の違いを伺う。</p> <p>(5) 合併前、旧芝川町の水道水未普及人口は487人、約5%だった。未普及地域の変化はあったのか伺う。</p> <p>(6) 未普及地域と市の関係を伺う。</p> <p>(7) 「富士宮市水道ビジョン」第3章3-3「強靱に関する実現方策」の③に「芝川地区の配水安定化」とあるが見直しがされた点があるのか伺う。</p>			市長 副市長 関係部長
2 キャッシュレス決済への取り組みについて	<p>今年10月の消費税増税時の経済対策に関連して「キャッシュレス決済」が脚光を浴びている。キャッシュレス化は経済対策で検討されているポイント還元の受け皿として必須となっているほか、新たな顧客獲得やインバウンド客の消費アップにもつながる可能性がある。そこで伺う。</p> <p>(1) キャッシュレス化のメリット、デメリットをどう捉えるか伺う。</p> <p>(2) 市内の小売店におけるキャッシュレス化は促進されているのか伺う。</p> <p>(3) 市内のキャッシュレス比率はどれほどか伺う。</p> <p>(4) メリットを考えれば市も小売店のキャッシュレス化を後押しするべきと思うがいかがか伺う。</p> <p>(5) 公共料金の支払いもスマホ決済を導入すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(6) 県の施設（富士山世界遺産センター等）もスマホ決済を可能とするよう働きかけるべきではないか。</p>			市長 副市長 関係部長